

The 27th Organelle Workshop / Grant-in-Aid for Transformative Research Areas (A) Cytoplasmic Genome Regulation JOINT SYMPOSIUM

日時 3月13日(木) 13:00–18:50

会場 金沢商工会議所

Organizers: Shin-ichi Arimura (The Univ of Tokyo), Yuhei Araiso (Kanazawa Univ.), Yoko Itoh (Ochanomizu Univ), Yusuke Kato (Setsunan Univ), Yoshiki Nishimura (Waseda Univ), Keiji Numata (Kyoto Univ), Atsushi Takabayashi (Hokkaido Univ)

Organelles play a vital role in plant development, function, and environmental adaptation. This organelle Workshop, held in conjunction with the Transformative Research Project “Cytoplasmic Genome Regulation,” will serve as an international symposium featuring invited speakers from abroad. It aims to provide an opportunity for exchanging the latest insights and related technologies on plant organelles. A mixer is also planned, and we warmly invite you to join us. The workshop is free and open to everyone; however, prior registration through the webpage is strongly encouraged.

Web page: <https://sites.google.com/view/plant-organelle-workshop>

Web Page



13:00 | Opening remark

Session 1 (13:05–14:50)

13:05 | How to make a chloroplast:

RR-MYB-related transcription factors are master regulators of chloroplast biogenesis
Eftychios Frangedakis^{1,2} (¹Univ of Cambridge, ²Rikkyo Univ)

13:40 | Structure and dynamics of molecular machineries regulating mitochondrial morphology
Yuhei Araiso (Kanazawa Univ)

14:15 | Boosting Photosynthesis via Improvement of Rubisco and Rubisco Activase
Wataru Yamori (The Univ of Tokyo)

14:50 | Break

Session 2 (15:00–16:10)

15:00 | Development of mitochondria-targeted nano capsule to transport genome editing devices
Yuma Yamada (Hokkaido Univ)

15:35 | Organelle-targeted Delivery of Multiple Cargoes within Plants Using Carbon Nanomaterials
Simon Law¹, Keiji Numata^{1,2} (¹RIKEN, ²Kyoto Univ)

16:10 | Break

Session 3 (16:20–17:30)

16:20 | Plant Organellar Genome Editing Technologies and
Grant-in-Aid for Transformative Research Area A, “Cytoplasmic Genome Regulation”
Shin-ichi Arimura (The Univ of Tokyo)

16:55 | Organellar DNA editing in human cells, animals, and plants
Jin-Soo Kim (National Univ of Singapore)

17:30 | Break

Keynote lecture

17:45 | Chloroplast Genome Engineering: History and the Road Ahead
Pal Maliga (Rutgers Univ)

18:45 | Closing remark

第3回植物ホルモン分析ワークショップ

日時 3月13日（木）13:30–15:55

会場 B会場

言語 日本語

オーガナイザー：朝比奈雅志（帝京大）、森 泉（岡山大）

概要：本ワークショップでは、植物ホルモンの分析に興味があるがどうしても良いかわからないかた向けの話題や、いまさら聞けない分析の基本の話題などについて情報交換を行います。また、最近の植物ホルモン分析を利用した研究成果について紹介します。

- 13:30 はじめに
朝比奈雅志（帝京大・バイオサイエンス学科）
- 13:35 植物ホルモン分析を検討されている方へ～帝京大学・先端機器分析センターの紹介
湯本絵美（帝京大・先端機器分析センター）
- 13:45 理研 CSRS での植物ホルモン分析プラットフォームの紹介
小嶋美紀子¹，竹林裕美子¹，榊原均²（¹理研・CSRS，²名古屋大・生命農学院）
- 13:55 nano-LC/MS と LMD を用いたトウモロコシ幼葉鞘の微量サンプルから IAA 定量分析
鈴木 洋弥^{1,2}，竹林 裕美子²，瀬尾 光範^{2,3}（¹東京工科大学・応用生物学部，²理化学研究所 環境資源科学研究センター，³琉球大 熱帯生物圏研究センター）
- 14:15 ホルモン一斉分析はこうする！「はじめてさん」向けミニ講座
～岡山大学における植物ホルモン解析について
松浦恭和（岡山大・植物研）
- 14:25 非ホルモン研究者の自分たちがホルモン解析に助けられた体験談
高木紘^{1,2}，今泉貴登¹（¹ワシントン大・生物，²名古屋大・遺伝子）
- 14:45 植物の傷害応答と麻酔
岩渕モカ¹，朝比奈雅志^{1,2,3}（¹帝京大・理工学研究科，²帝京大・バイオサイエンス学科，³帝京大・先端機器分析センター）
- 15:05 植物ホルモンによる環境刺激感知メカニズムの解析
野元美佳^{1,2,3}，多田安臣^{1,2}（¹名古屋大・遺伝子，²名古屋大・院理，³JST・さきがけ）
- 15:25 原形質連絡カロースの蓄積とオーキシン輸送・応答性の関係性の解明に向けて
大場裕介（帝京大・バイオサイエンス学科）
- 15:45 終わりに
森 泉（岡山大・植物研）

第42回 植物生理若手の会

「多様なキャリアに学ぶ，私の生き方」

日時 3月13日（木）15:30-18:00

会場 Z会場（ハイブリッド開催）

世話人(50音順)：磯田珠奈子（県立広島大）、伊藤岳洋（東京農工大）、王愛里（名古屋大）、立花諒（京都大）、中西辰慶（奈良先端大）

植物生理若手の会は40年以上にわたり、有志の団体として学生・若手研究者の育成を目的に活動してきました。第42回となる今回は「多様なキャリアに学ぶ，私の生き方」と題し、アカデミアと企業の両分野から4名の講師をお迎えし、ご講演いただきます。「海外留学」「企業からアカデミアへ」「アカデミアから企業へ」「大学発ベンチャーの起業」など、多彩なキャリアパスを歩まれてきた講師の皆様から、キャリアを考えるためのヒントを得ていただければ幸いです。

- 15:30 チャンスは一瞬。必ず掴もう！
小川哲史（京都大学・化学研究所）
- 16:00 「網の目」的キャリアのあり方
加藤木ひとみ（東京農工大学・連合農学研究科）
- 16:30 休憩
- 16:40 植物細胞生物学を学んでいたはずが、気がついたら渋谷のベンチャー企業に就職していた
浅岡凜（株式会社アカリク）
- 17:10 基礎研究は役に立つどころか稼げる
小山内崇（明治大学農学部・株式会社シアノロジー）
- 17:40 閉会挨拶
- 18:00 閉会

※終了後には懇親会を予定しています。参加を希望される方は、植物生理若手の会のホームページ、SNS アカウント等からのお知らせをご確認いただき、事前申し込みをお願いいたします。

第21回日本原形質連絡勉強会

日時 3月14日(金) 18:30-20:30

会場 D会場

世話人：大場裕介（帝京大・理工），野田口理孝（京大・院理）

原形質連絡は隣接する植物細胞をつなぐ通路状の構造であり，タンパク質，RNA，植物ホルモン等の移行の場となっていると考えられています。本研究会は年に2回，原形質連絡に関わる研究に携わるスピーカーからの話題提供をもとに議論を行う勉強会を開いてきました。今回は，国立遺伝学研究所・植物細胞遺伝研究室 教授の野々村賢一様にスピーカーをお願いし，議論を行いたいと思います。参加登録等は不要ですが，当日に簡単な守秘義務誓約への同意の確認を行う予定ですので，予めご承知おきください。

座長 大場裕介

- | | |
|-------|---|
| 18:30 | はじめに |
| 18:35 | 薬における細胞間コミュニケーションと減数分裂周期制御
野々村賢一 教授（国立遺伝学研究所・植物細胞遺伝学研究室） |
| 19:15 | 総合討論 |
| 19:55 | 終わりに |

植物科学プレゼンワークショップ 2025

「英語で話そう！伝えよう！つながろう！」

日時 3月14日(金) 19:00-20:30 (参加受付 18:30-) 会場 B会場

講師：竹内明日香 (一般社団法人アルバ・エデュ代表理事)

世話人：古水千尋 (広島大学), 市橋泰範 (理化学研究所), 古谷朋之 (大阪大学)

概要：

研究発表や授業などで英語を話す機会が増え、コミュニケーションの可能性が広がっています。

このワークショップでは、英語で話し、伝えるためのノウハウを学びます。対海外のプレゼンテーションへの心構え、日本語と英語のダイアログ手法の違い、発表準備のコツ、発声・発音トレーニングなど、盛りだくさんの内容です。

プレゼンテーション教育のプロから学び、「伝わる」英語プレゼンを一緒に考えてみませんか？

新たな交流・研究が生まれるきっかけにもなりますように！

19:00	はじめに・自己紹介 アイスブレイク
19:11	1. なぜ話す力か、何を指すか？ 2. なぜ話せないのか 3. 考える・伝える・見せるの3ステップ 4. 聴衆により訴える手法
20:02	ヒアリングセッション
20:22	ミニプレゼン
20:27	おわりに

このワークショップは、どなたでも無料でご参加いただけます。できるだけ下記フォームより事前にお申し込みください。参加人数に限りがあるため、早めに締め切る場合があります。

登録フォーム：<https://forms.gle/VtdkPTye5Doqfuej6>

事前登録・お弁当手配締め切り：3月2日(日)

連絡先：古水千尋 (chihiro-furumizu@hiroshima-u.ac.jp)

